

- ・コラム (杉浦 良)
- ・おあたか静流チャリティライブ
- ・お知らせ (コーヒーサービス開始)
- ・リサイクル作業所日記 2011
- ・スタッフ雑感
- ・協力者名簿／編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

142号/2011年 Since 1984

—「チャレンジド」—

杉浦 良

「うちの親父はボンボンやったんヨ！財産をいろんな事業につぎ込んで、最後はすっからかんになって・・・。物心がついた頃には、お袋とケンカばかりしとった・・・。家を出たお袋の所に時々顔を出しとったけど、早口でギャングンいうお袋に、肩を落として、後姿がわびしそだったわ・・・。」今、そう語るEさんも、天涯孤独を三十年続けています。

「子どものオレを連れ、お袋一人で何とか小料理屋して・・・、それもあってオレが酒飲みになったんヨ。金も無いのに酒飲んで、ツケがたまって返せんようになって、みんなによう怒られた・・・。」

そんなEさんには視野と視覚の障害がありました。全盲ではないため、20才を超えても障害基礎年金支給の対象とはなりません。マッサージの資格は何とか取ったものの、母1人子1人の暮らしを病魔が引き裂きます。まだ若く元気だったお母さんが突然亡くなり、彼の狭いアパートに新しいお仏壇が置かれることになりました。回りの人たちが色々世話



第10回全国障害者芸術・文化祭とくしま大会にて

をしてくれたものの、洗濯も料理もできないEさんにとって1人暮らしのハードルがクリアできません。生活が成り立たなくなった頃、私との出会いがありました。そしてとうとうアパートの家賃が払えなくなって、月の宮作業所（元豚舎）の一角に住み込むことになりました。

「Eさん！これはひどいわ！ゴミ屋敷やで！どこから入るん？」そうメンバーのDさんがあきれいています。万年床の布団の周りにはすべて汚れた衣類が積み上げられています。お風呂に入らないので臭いと言われるたびに、いただいた古着を着替えては、そのまま置き続けた結果です。古びた全自動洗濯機がその横にあります。水漏れを起こしたのか床板が腐って抜け落ちていました。トラックにEさんの荷物を積み込み、掃除を他のメンバーにも手伝ってもらうことで、とりあえずアパートを引き払うことが出来ました。

「周りは山で、夜はEさん1人ぼっち、ちゃんとやれるやるか？」そう心配するDさんはお母さんとの2人暮らしです。

「なんならD君！Eさんと一緒に寝てあげる？ただ他に方法もないし、ここならすきま風で冬は寒いけど、取りあえず雨露はしのげるし・・・」「あんなあ！オレだって母ちゃんがあるし、そういうわけにはいかんわ・・・」

不用品回収で頂いた2段ベッドの一段目に布団を敷き、2段目にEさんの私物が置かれました。葬儀以後、多分一度も掃除がされたことのないお仏壇はベッドの横です。住む所は何かあったものの、作業所での賃金だけでは生活が成り立ちません。生活保護の申請を行い、足りない部分をフォローしてもらうことになりました。昼食は私が作るものの、朝晩の

食事が問題でした。朝はパンと牛乳で済ましてもらい、晩は昼炊いたご飯と缶詰というメニューです。偏食が激しく、ほとんどの野菜が食べられません。お風呂は休みの日に市内の銭湯に行くことになりました。

「休みの日に銭湯に行くんやったら、毎日お風呂に入られへん！ほら臭いで！」とDさんが口をはさみます。「あんな、今までEさんは年に3回とか4回のペースやったの！それがもし週に1回入るとしたら、そらピカピカにキレイになると言うもんや！」そう答えながらの日々が続きました。

時は移り、あれほど激しかったEさんの吃音も余り気にならなくなった頃、Eさんが私に相談を持ちかけました。「あっあっあおう、もうそろそろ生活保護をやめたいんよ・・・。ワーカー（生活保護担当のソーシャルワーカー）さんに毎月来てもらうのも気の毒だし、こっこっこで、もらえる賃金だけで何とかやっていけると思うし・・・。服も靴もここで買えば安いし・・・」言葉をしぼり出すように語るEさんです。

「もしまた生活が立ち行かなくなった時は、何時でも相談してください。」そう語るケースワーカーCさんの優しそうな眼差しがありました。「今まで、こんな風に保護から離れて行った方を知りませんでした。色々考えさせられました。」お辞儀をして帰るCさんの後姿を、そっと見送るEさんがいました。

（これは日々日常をつなぎ合わせたイメージ論です。）

おおたか静流 ライブイン 般若院

チャリティライブ開催

日時：3月16日(水) 18:30

場所：般若院 (徳島市寺町 92)

チャリティ：¥1000

お問い合わせ：088-623-3517

般若院のご住職、宮崎信也さんが、太陽と緑の会のチャリティライブを企画して下さることになりました。本当にありがたいことと思います。

(以下、ライブのリーフレットより)

ごあいさつ

住職が、アルバム「REPEAT PERFORMANCE」以降 20 年来、一番好きなシンガーである、おおたか静流さんのライブを開きます。実は、住職一人で楽しもうと思ったのですが、大乘仏教の精神に反すると思ひ「太陽と緑の会」のチャリティーとして公開することにしました。ぜひ、ご来聴ください。

おおたか静流

Singer, Voice Artist

代表曲「花」、アニメ「千と千尋の神隠し挿入歌・神々さま」から、映画「東京島」のサントラ、そしてCM600 曲以上を七色の声で歌い上げ、ヴォーカルの可能性を追求している。NHK教育テレビ「にほんごであそぼ」でも“シズリン”の愛称で活躍。ニューヨークから発信するヨシコ・チュウマの話題作“A Page Out of Order”にて世界行脚を続ける。最新作はイスタンブール録音のアルバム“SERENADE”。

Keiju (中嶋恵樹)

Guitar, Bouzouki, Sitar, Suling

神山で仙人のように暮らしながら、ユーラシア大陸を舞台に活躍するインターナショナル・ギタリスト。驚異のギターテクニックを持ちながらそれにとらわれず、バリ島の竹笛スーリン、シタール、ブズーキなど世界中の旅先で出会った楽器を駆使し、Rock、Jazz、Classic、民族音楽などあらゆるジャンルをMIXしたスタイルで新しさの中にも心に響く音楽を 15 年以上クリエイトし続けている。

慧奏

Piano, Percussion, Folk Instruments

ピアノをメインにしながらも、先住民族のスピリチュアルな伝統楽器を習得。オーバートーンヴォイス(倍音歌唱法)や循環呼吸など独得な奏法によって、石や木から成る自然素材のオリジナル楽器も演奏。そのオリジナリティと精神性の高いプレイで、常にシーンの中、際立ちながら存在する。

YURAI works 代表、制作プロデューサー。

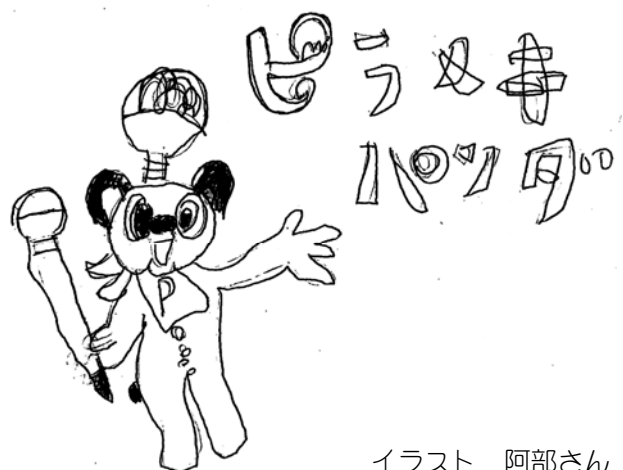


イラスト 阿部さん

お知らせ

冬期限定 コーヒーの無料サービス 始めました

寒い中、ご来店下さった皆様感謝の気持ちをこめて、当会で働く様々なハンディを持ったメンバーによるコーヒーの無料サービスを行っております。

メンバーがお盆に紙コップコーヒーをのせ、店内を回ってお客様に声をかけてお渡しする、というスタイルです。

冬期限定です。午後5時から7時まで、週2～3回のペースで行っております。ぜひご利用下さい。

芸術・文化祭に参加

12月10日～12日、第10回全国障害者芸術・文化祭とくしま大会が徳島市内（アスティとくしま）にて開催。

太陽と緑の会から、作業所メンバーの米田さん、伊藤さん、大木さん、走川さん、代表の杉浦、職員の松村が参加。

太陽と緑の会月の宮作業所特産の有精卵を使ったミルクケーキ（1日10杯限定）、同作業所産の無農薬野菜・どんこ椎茸（菌床）、コーヒー、米田さん自作の詩集を販売しました。

メンバーも「いらっしゃいませ」「コーヒーいかがですか」とお客様に声をかけたり、コーヒーを入れてお客様にお渡ししたり、お買い上げの野菜を新聞紙で包んだり、と販売活動に積極的に参加しました。

また米田さんは、10日の障害者舞台芸術発表にて10分間の詩の朗読を行いました。



お買い上げ頂いたリユース品（家具）をお客様のお車に積み込む。

作業所研修会

1月29日 徳島県障害者地域共同作業所連絡協議会研修会開催。(同会は平成10年5月に設立。当然公的助成はありません。事務局は、設立当初から太陽と緑の会が、社会貢献の一環として無償で引き受けています)

25箇所の障害者地域共同作業所・地域活動支援センター・障害者サービス事業所等から45名参加。5団体による事例発表と5つのテーマ別のグループ討議を実施。各作業所等で抱える問題を出し合いながら、活発な議論が展開されました。

こうした問題について相談し、話し合う場が少なく、そうした場が必要とされていることを改めて感じました。当会からは代表杉浦、専任職員宮浦の2名が参加。

見学・取材・体験講座

1月11日 香川県隣保館連絡協議会より4名の皆様が見学。

1月17日 徳島県新しい公共担い手支援調査事業ヒアリング調査のため、NPO法人市民未来共社の志摩さん来所。

2月1日 時事通信社の原田記者「厚生福祉」取材のため来所

2月4日 徳島県若者サポートステーション 体験講座受入

昨年の5月、7月に続いて3回目 利用者7名(うち2名は2回目の参加)、職員4名の計11名の皆様が参加。

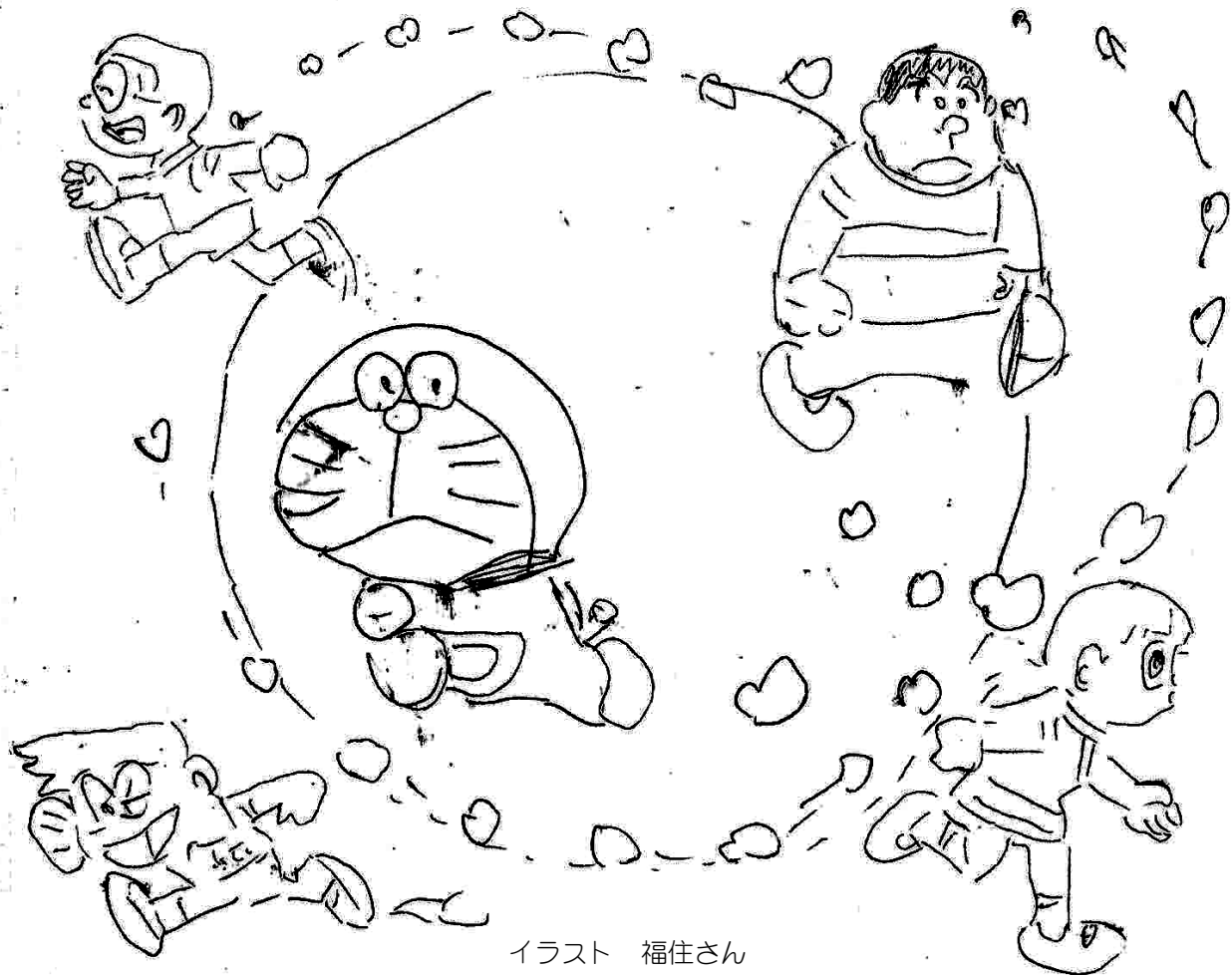


イラスト 福住さん

T-4



ブルーインパルス
50周年おめでとう。

平成22年11月29日～30日に泊旅行で大和ミュージアムに初めて行きました。自分は戦艦大和とゼロ戦62型を見て写真を撮りました。おみやげ店の中で戦艦大和と空母赤城の大型模型あったのがよかったです。今年はブルーインパルスが栄えりして50周年になります。海上自衛隊7つのくじら官で潜水艦おやしおの模型の写真を撮りました。



文・イラスト 藤田喜彦さん

講演・事例発表・会議等

12月18日～19日 第10回とくしまNPOフォーラム 分科会「福祉のネットワークづくり～人を育み地域を育てる～」事例発表者として杉浦出席

1月30日 第9回鳴門市市民活動交流研修会にて杉浦講演「太陽と緑の会のこれまでの活動およびこれからのについて」泉市長も出席して下さいました。ありがとうございました。

1月27日～28日 サービス管理責任者研修（地域生活・知的・精神）杉浦受講

12月16日 「いま協同を拓く2010全国集会 in 四国」反省会。杉浦出席。

12月22日 環境ボランティア交流会打ち合わせ（於：徳島県庁）杉浦出席。

1月8日 あみ（全国精神障害者地域生活支援協議会）全国大会 IN 徳島 第2回実行委員会。杉浦出席。

1月7日、14日、2月4日 新しい公共支援事業の実施に向けての意見交換会。専任職員小山出席。



見学に来られた方のご案内

リサイクル作業所日記 2011

トラックが回収作業から帰って来る。荷物を下ろす。資源ごみ（新聞・雑誌・段ボールなど）は、選別し、資源ごみ専用の倉庫へ運ぶ。それ以外はパレットに積んで、倉庫の中に入れる。

入ってきた品物は、メンバーのLさんが袋や箱からひとつずつ出してテーブルに並べる。スタッフが、新館に送るもの、50円均一の掘り出しコーナーに出すもの、などに選別する。

新館に送られた品物は、洗浄・清掃・磨き、包装、ラップ・シュリンクフィルム掛けを行う。値段を決め、値札をつける。かごに入れる。店内の所定の場所に並べていく。値段の決定以外は、すべてメンバーが流れ作業で行う。

衣料品も選別と値段の決定のみ、スタッフとパート職員が行い、他はメンバーが分担して行う。値札をタッチャー、アンビタッチといったツールでつけ、ハンガーにかけ、新館の売場に陳列する。

1日に5～6回は品物を補充する。売れて服の掛かっているハンガーの回収、落ちていた服を掛け直す、といった売場の整理作業もメンバーが行う。

電化製品の動作テスト・点検・修理は主にパート職員（10年来のボランティアで定年退職後、当会に就職）が行い、簡単な動作テストはスタッフも担当してい

る。テスト済み電化製品の磨き、売場への陳列はメンバーが分担して行う。

駐車場に銀の軽自動車が入って来る。お客様が、衣料品らしきものが入った半透明のゴミ袋を持って来られる。

「Kさん。お持ち込みですよ」とJさん。メンバーのKさんが品物を受け取る。「まだありますので」Jさんが車の方へ向かう。新聞が2束、段ボールが10枚。

「お名前をお願いします」最後に持ち込みカードに記入して頂き、機関誌をお渡しする。

「ありがとうございました」

品物や資源ごみの回収は年間300日以上の活動で1307件、お持ち込みは6210件（平成21年度）。皆様一人一人のサポートで、太陽と緑の会の今がある。

（次号に続く）



選別した品物を新館に運ぶ。

スタッフ雑感

あけましておめでとうございます。皆様におかれましては幸先良い年始を迎えられたことと思います。僕も無事、ここ、太陽と緑の会で働くようになってから初めての年明けを迎える事ができました。

ここで働くようになってから一年近く経つことになりましたが、この一年を振り返ってみれば、様々な人との出会いと多くの新しい経験とそこから学べたこと、学ばなければならぬこと、そしてそれらを通して見えてきた自分の到らなさに歯がゆい思いをしながらの七転八倒の連続でした。濃いといえば、それはもう今までにないくらいに濃密な一年だったとも言えます。その濃さに押しつぶされて幾度もくじけそうにもなりましたが、そのたびに周りの人々に支えられて立ち上がらせてもらい、ここまで来れました。本当に皆さんには多大な迷惑をかけてしまったと思います。それでも見捨てず辛抱づよく僕にお付き合いいただいてありがとうございます。

さて、そんな一年、今までの人生ではありえなかった障害者や障害者福祉に関わっている人々に囲まれた環境での一年を送ってきた中で、つくづく実感させられたのが、何事も人間同士の関係性の中で成り立っているということです。これはどんな職場や家庭でもいえる至極当たり前のことだと思います。しかし、今の太陽と緑の会での生活においては、僕にとって一層の重みを持って直面せざるを得ないテーマとなりました。逆に言えば、これまでの僕の人間関係の築き方を問い直されるという事態に立ち入ったのです。

先日、十年来の付き合いの友人に言われた言葉に「お前は自分の物差しでしか人を見ようとしなない」というのがありました。「要は自分の尺度を他人に押し付けて、それに外れたら上から嵩にかかっていってるやないか。それを今の職場でもやってるんちゃうか」と言われて、正直、胸にだいぶこたえるものがありました。そう言われてみれば

ば思い当たる節はいくらでもあり、実際にそんな態度で周りの人間に接してきたかと思うと、自分の思い上がった姿を鏡で見せられたようで、顔から火が出るような恥ずかしさに何も言えませんでした。

僕は自分で自分のことは分かりません。うっすらとこうちゃうかなと感じている程度です。それなのに赤の他人に「お前はこうこうこういう人間なんだから、こんなんやろ」と決め付けられるんは大嫌いです。はっきり言えば「お前は俺に喧嘩売ってんのか」ということです。これを僕は今まで人に対してやってきていたのです。殴られていても文句言えないでしょう。傍から見れば高慢ちきないやな奴にしか見えないと思います。ところが、周りの皆さんはそんな僕を疎んずるところか、温かく見守ってくれていたことに今更ながら気づかされました。

僕はたぶん今でも自分の物差しでしか人を見ていないでしょう。しかし、その物差しでは測れないものを一人ひとりがそれぞれ持っていることをしっかりとその目盛りの上に刻み付けて、願わくばそんな物差しを手放してありのままの姿を感じ取れるようになりたいです。そんな僕を、いっちょ揉んだろかという感じで今年もよろしくお願いします。 (専任職員 松村尚俊)



イラスト 田村さん

当会の活動にご協力下さった皆様

§平成22年12月1日～平成23年1月31日§（紙面の都合上、敬称は略させていただきます）

ご寄付下さった皆様

匿名、匿名、成瀬、蔵本、都築、匿名、ゆずり葉

（郵便振替口座にご入金下さった皆様） 檜本、匿名、(有)三好商事自動車部、小池、巻島、本田、匿名、永口、加藤、桐生

品物を引き取りにお伺いさせて頂いた皆様

○徳島市○岡田、福田、鈴木、西谷、田室、龍光堂、井上、矢野、本田、北野、徳島県国際交流協会、松下、森、山田、鳥取、近藤整形外科、矢部、田村、米沢、のぞむ歯科、藤沢、藤本、木村、ビューティーオアシス、チヨ、黒川、老人ホームライム、鎌田、流、赤沢、西條、以西土地改良区(事)、カンガルー歯科、近藤、小倉、石渡、沢田、ウイマップ、平土、橋本、坂東、青木、宮前、前田、中野、伊川、藤野、中野、井口、西、田村、上野、上原、木村、大木、石浜、蔵本、前川、近森、久次米、相葉、熊本、黒田、佐々木、立川、秋田、藤井、増田、向井、東條、片岡、島田、森、板東、米田、片山、中田金庫店、かけお、パソQ、三好、寺尾、大串、中尾、西木、真鍋、発達支援センター、栗若、浜口、小田、粟谷、小松、新見写真館、犬伏、沖野、安原、矢野、花谷、戸村、鈴木、吉村、横田、中山、久穴、武内、中川アニメルクリニック、吉田、杉本、赤井、平尾、原、松本、お好み焼き、杉の香り、内田、長尾、天満、竹原、福永、玉屋製パン、山下、広瀬、小野、速水、大野、原、宮地、徳島進学会、沢田、堀内、本田、岡崎、三海、あつぷる調剤薬局、大西、後藤、宮本、佐藤、いのこ、明石、馬越、鏡、花谷、浅野、長野、平川、田野、福島、竹岡、倉田、漆原、松田、かわかぜ、寺島、山元、新見、杉の子保育園、トラマルキッツ、高橋、西村、岩崎、小林、江西、中沢、中村、佐藤、吉田、若木、南郷、四宮、川人、行久保、南部、藪原、せいりょう寺、野口、香川、うきち、栗山、久次米、渡辺、坂本、鈴江病院、阿部、吉岡、三木、トライバル、クバラ、辻、土橋社労士事務所、藤永、松英、三海、山田○藍住町○森、近海、阿部、里見、大木、河崎、富岡医院、佐藤、玉井、吉田、中尾、矢野、後藤田、笠井、吉武、藤川、四宮○鳴門市○佐藤、武田、松島、丹羽、久龍、辻、平田、篠原、前川、米田、さいか、前田、リサイクル山田、中山○阿南市○津田、立石、沢野○阿波市○藤原金物店○北島町○結城、中野、武知、和喜○上板町○森、カシハラ○板野町○吉川、吉本工務店、藤井○吉野川市○工藤、板東○石井町○天羽、小川、橋本、高橋、田村、山口、古川、友成、瀬戸、山西、西口、露口、大石○小松島市○井上、江本、近藤、内藤、中村、上村、大森○松茂町○坂本○佐那河内村○水原

A HAPPY NEW YEAR

昨年もお世話になりました。2011

ありがとうございます。DVDも送って頂きありがとうございます。年賀状とお礼を言わせて頂く事も許して下さい。DVDは驚きました。懐くとも嬉しかったです。

皆一生懸命をす向きに生きて、徳島での1年間の思い出として、今でも大切に存在で、年が経つほどにその重いくおに思えます。

毎週、日常の事に追われてはいる不作為として、忙しいと忙しいながらと、ご迷惑をされているんじゃないかと。DVDを観ながら

生活は
かけ増に

自分の生活
感じました。

一年間ボランティアとして当会の活動に参加した方に、ビデオテープで残っていた当時の映像（第1回ワークキャンプ 今から21年前）をDVDにして、送らせて頂きました。

品物を持って来て下さった皆様 (郵送含む)

○徳島市○大島、内田、田中、吉田、古川、葉坂、久米、多田、日下、梶芳、福家、中川、榎本、美記、岩本、佐藤、藤田、宗本、伊丹、湯浅、住友、脇田、宮内、高橋、谷越、関口、荒木、木元、山下、伊藤、田倉、松田、澤口、尾方、鈴江、内海、内館、東條、田村、松本、木村、武内、鈴木、横田、細川、楠原、久米川、石井、井上、山橋、松下、阿部、岸田、野崎、粟谷、丸山、長野、森本、吉見屋タイヤ、森住、坂部、小笠原、竹内、角、土間、春藤、横井、加藤、大下、津田、伊澤、森、松浦、永井、吉合、近藤、平田、坂本、米澤、(社)倫理研究所家庭倫理の会徳島、松本、岡山、吉村、照本、山中、兼下、喜多、中須、高木、笠谷、奥村、佐々木、上田、山口、窪川、一宮、久保、町田、田尾、小笠、榎木、西野、増本、岩田、大津、沖洲ほっとチャペル、杉田、嶋田、藤本、松尾、三木、島田、仲島、長楽、村上、金本、明丸、中井、原田、東、高岡、井原、楠本、花みずき、北尾、福田、巻、吉岡、芦田、楠、真鍋、板東、平岡、清水、川上、中西、近藤、和田、四方、安田、桜井、片山、川添、片岡、藤川、桑原、仁木、森口、丸山、山下、中峰、篠原、瀬戸、河野、三宅、大櫛、甲斐、水口、細川、中島、伝藤、高橋、本田、北川、武田、兼下、坂野、菅井、青木、澤田、原、谷村、大西、栗谷、笠井、真木野、川島、川田、瀬川、林、戸田、中原、播磨、河村、矢藤、高木、金重、森下、久米、秋山、宮崎、西森、岡本、照本、正木、山田、悦田、植松、宇山、小林、金丸、美馬、重松、金木、犬伏、阿木、原田、西岡、村川、大津、伊藤、岩根、吉成、岸本、野口、板橋、向井、塩田、天野、オリバ、大山、三谷、井川、田村、藤岡、高尾、吉村、為実、大野、西分、山本、森本、西、中田、窪川、平岡、和田、宇野、井谷、大寺、大隈、武市、瀬川、今田、松島、川人、溝淵、中尾、後藤、水落、堀口、郡、杉浦、東口、川尻、山崎、酒井、斎藤、田岡、森岡、前川、長尾、大北、田中、小路、蔭山、大久保、近藤、立石、国府小学校PTA、奈良、小倉、泉、谷、岡田、富永、谷口、生田、中園、森崎、常楽園、熊井、大家、二神、森川、大上、市川、森岡、永峰、中山、湯川、姫野、吉野、一宮、木村、坂口、上久保、第一病院、デイケア、橋本、為実、荒川、増原、新谷、豊田、西浦、石原、樋口、玉野、田部、横山エステイエ工務店、小喜多、助任小学校、清水、住吉、佐中、谷原、榎本、大輪、今津、矢上、藤井、川田、榎本、小泉○鳴門市○大橋、近藤、渡辺、森井、植野、茨木、若松、浜、賀川、田村、大石、黒田、塩田、瀧下、橋本○石井町○切原、田中、秋山、久米、児島、浅井、池北、田村、齋藤、清水、森野、柏本、林、新森、永岡、山本、矢野、吉田、深尾、森、木村、加藤、大森、高橋、久次米、清重、武知、美馬、元木、橋本、小川、生田、尾崎、植田、松浦、坂口、臼杵、渡部、野上、中内、藤本、中川、片保、出口、古川○阿南市○石川、森、西澤、保田、松田、細川、藤崎、渡辺、荒川、今田、鎌田、森下、藤岡、田村、武市、伊藤、石田

○藍住町○林、万藤、西川、入山、象潟、渡辺、三好、惣田、山田、天羽、藤田、新居、吉川、三木、服部、村上、南、住友、池戸、藤澤、瀧川、角本、井上、山内、河野、池戸、赤石、上田、阿部、矢野、前川、木下、吉武、四宮、氏家、山本、賀川○吉野川市○平島、松本、川野、樞山、鎌田、谷、露口、吉田、阿部、日野、青木、鉾立、井内、住友、西條、上村、森久○阿波市○吉田、竹内、岩野、近藤、大崎、高島○北島町○多田、日下、池形、橋田、和喜、萩原、下山、中西、尾崎、笠井、須見、佐川、秋野、橋田、吉田、田根○板野町○森本、市川、井上書店、三木、高木、林、久米、上田、明松○美馬市○奥村、藤本、平尾、松浦、大西、黒岩○佐那河内村○嵯峨○小松島市○新居、井関、藤本、堀江、宮谷、平井、三原、藤本、渡辺、木村、中村、大森○上板町○廣澤、森、水口、稲井、白井○海陽町○長尾、河野、丸田○神山町○中原、森長、松浦、河野○牟岐町○つみがめ作業所、坂本○三好市○正木○松茂町○三好、森田、丸中、板東○上勝町○原

○広島県○上野○兵庫県○井上○京都府○木村、井上、小暮○大阪府○佐藤○香川県○矢部、松村○高知県○南場○埼玉県○吉田○東京都○内藤、牧野

前略

いつも会報、お送り下さってありがとうございます。
 ご返します。早く読ませていただきます。
 ありがとうございます。

お役に立つかどうかわかりませんが、不用品
 送りさせていただきます。

よろしくお願ひいたします。

本日ほおせ伝持のさびります。

極く僅かですが、活動費の足しに
 頂ければ幸いです。



いつも当会の活動にご協力頂き、ありがとうございます。

品物を持って来て下さった皆様の中には、「何回も来て、書いているので」「名前は結構ですから」と、お名前を書かずに帰られた方もおられ、実際は上記の2倍以上の方のご協力を頂いております。

頂いた品物は大切にリユース・リサイクルし、障がい者のサポート、ボランティア育成、他団体へのサポートなどに役立てています。リユース・リサイクル可能なものがございましたら、ぜひお電話下さい。

いつも旬のお野菜や自家製のお漬物を持って来て下さる吉田様、寒い日に心も体も温まるぜんざいやシーフードカレーを差し入れして下さい下さった河野様、おいしくて甘いミカンを下された多田様、ボランティアとして活動に参加して下さい下さった片岡様、本当にありがとうございました。



頂いたお野菜（ダイコン、ホウレンソウ）は、作業所の昼食のみそ汁（様々なハンディを持った作業所メンバーの手作り）や生活棟での食材として使わせて頂きました。厳しい運営状況の中、大変助かっております。

おミカンはメンバーの他、ボランティアや日頃お世話になっている方にも差し上げました。甘くておいしい、と大好評でした。ありがとうございました。

編集後記～急がば回れの福祉～

平成 21 年度の生活保護費が 3 兆円を突破、被保護人員は約 176 万人（約 127 万世帯）、14 年間で 2 倍に増えました（厚生労働省調べ）。一人当たり年間約 171 万円（うち半分は医療費）が支給されています。加えて、昨年厚生労働省の公表した生活保護の捕捉率は 32.1%、つまり生活保護基準未満の人がすべて生活保護を受けると、受給者は 3 倍に増え、生活保護費は約 9.4 兆円となります。これは国家予算の約 1 割、消費税収入に匹敵する額です。

生活保護費の増大を抑制するために、「新たなセーフティネットの提案 保護する制度から再チャレンジする人に手を差し伸べる制度へ」（全国知事会・全国市長会・平成 18 年 10 月）、「社会保障制度全般のあり方を含めた生活保護制度の抜本的改革の提案」（指定都市市長会・平成 22 年 10 月）、さらには厚生労働省による生活保護法改訂案の検討も始まっています。

例えば、以下のような施策が提案もしくは検討されています。

①稼働可能層（18～65 才未満）に対し、集中的かつ強力に就労自立を促進、生活保護の支給を 3～5 年に制限（有期保護制度）。就労体験や軽作業、ボランティアへの参加を半ば義務付ける方向になる可能性もあります。

②一般世帯との均衡を考慮した保護費の見直し。つまり老齢基礎年金（満額支給で年間約 79 万円）や最低賃金の収入（フルタイ

ムで働くと年間約 175 万円。ここから税・社会保険料、医療費の自己負担などを支払う）に比べ、生活保護費が「高い」ので、低い方に合わせて削る、ということです。

これらの議論は、介護保険や障害者自立支援法の導入と共通するものがあります。財政難を理由とする福祉予算の抑制が第一の目的だということです。

就労を望む人が就労できるように、様々なアプローチによって支援していく「就労支援」は、積極的に推進すべき施策だと思います。本人が就労によって、その人なりに立っていきことができ、自分の人生を取り戻していく。結果的に福祉予算は減りますが、本来それはあくまで結果であって、目的ではありません。

理念よりも予算の増減にウェイトを置いた福祉施策は、現場の実情から離れた費用対効果の少ない予算のばらまきにつながり、最終的には財政破綻とセーフティネットの崩壊を招くこととなります。

働かないのは本人の問題、つまり努力の足りない、やる気のない自分の責任ではないか、という見方もあります。しかし、例えば非正規雇用の割合が高くなったのは、本当に個人だけの問題なのでしょうか。

「働くこと」「自分の足で立つこと」とは何なのか。そのためには何が必要なのか。行政にお任せするのではなく、私たち一人一人が社会全体の問題として、「急がば回れの福祉」を考える必要があるのかもしれない。（文責：小山）

特定非営利活動法人 太陽と緑の会

私たちは生態系のリサイクルを含めたリユース・リサイクル活動を、様々なハンディを持ったメンバー達の地域活動支援センター・障害者地域共同作業所とリンクさせて、行っています。地域の中で「人も物も活かされる街造り」をテーマに、ハンディーのあるなしにかかわらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指し、様々な方々（市民、ボランティア、行政）の支えを頂きながら年間 300 日、土、日、祭日を含めた、日常活動を行っています。

発行：特定非営利活動法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島県徳島市国府町南岩延 107-1

TEL・FAX 088-643-1054（事務局）

088-642-1054

（リサイクル、地域活動支援センター）

URL <http://www.t-midori.org/>

E-MAIL t-midori@jeans.ocn.ne.jp

代表理事 杉浦 良 編集 小山 隆太郎

協力者名簿データ入力 岡田 郁子

製本・発送 福住ヒサヨ 宇津辰則 走川幸児

年会費：正会員 1 万円 準会員 1,000 円

郵便振替口座：01620-8-44703